

ボディポジションセンサ プロテック

【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」

- * 可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内で使用しないこと。
[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- * 高圧酸素治療装置と併用しないこと。[爆発又は火災をおこすことがあるため。]
- * 磁気共鳴画像診断装置 (MRI) と併用しないこと。[誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがあるため。]
- * 除細動器と併用しないこと。[熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがあるため。]
- * 電気手術器 (電気メス) と併用しないこと。[電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

*＜外観＞



リードワイヤ センサ部 ストラップ

*＜仕様＞

バッテリー :

3V リチウムバッテリー内蔵 (交換不可)

標準的システム設定 :

コンピュータ・ベース・システムとの併用

標準的な信号振幅 :

座位 : 0.00 VDC
仰臥位 : 0.41 VDC
右側 : 0.78 VDC
腹臥位 : 0.62 VDC
左側 : 0.19 VDC
(精度±10%)

出力インピーダンス :

静的および動的 : 10 KΩ

リードワイヤの長さ : 2m (標準)

コネクタタイプ : 3.5mm ミニプラグ

*＜包装＞

品名	型式	袋
ボディポジションセンサ プロテック	1664	1 個

＜作動・動作原理＞

呼吸センサのベルトに取付けたボディポジションセンサは 5 つの体位 (仰臥位、腹臥、左側、右側及び坐位) を識別し、電圧を出力する。

【使用目的又は効果】

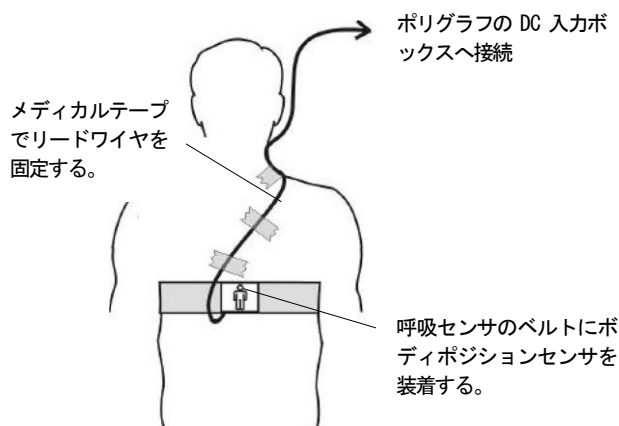
＜使用目的＞

本品は、終夜睡眠ポリグラフィによる睡眠時障害検査において、生体信号記録装置に記録する体位を検出するために使用する。



【使用方法等】

センサの装着



【使用上の注意】

*＜重要な基本的注意＞

- * 電極、センサは常に清掃、消毒を行い、清潔にしておくこと。
[電極、センサを介して感染する可能性があるため。]
- * 本品は、健常な皮膚にのみ使用すること。
- * 患者からバンドをはずす時は、必ず患者と睡眠評価装置が接続していないことを確認してから取りはずすこと。

*＜相互作用 (他の医薬品・医療機器等との併用に関する事)＞

併用禁忌 (併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置 (MR 装置)	併用禁止	誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがある。
高圧酸素患者治療装置	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内での使用	併用禁止	爆発又は火災をおこすことがある。
除細動器	併用禁止	熱傷を生じさせることや機器が破損する恐れがある。
電気手術器 (電気メス)	併用禁止	電気メスからの電流が電極に流れ、熱傷を生じることがある。

【保管方法及び有効期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

保管方法

- * 電池寿命を確保するため、センサ部が坐位 (人のマークが縦) になるように保管すること。
(下の保管例 1、保管例 2 参照)



保管例 1



保管例 2

保管環境

温度 -20～+60℃

湿度 15～95% (結露しないこと。)

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・気圧・温度・湿度・風通し・日光に留意し、ほこり・塩分・イオウ分などを含む空気などにより、悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

使用環境

温度環境 5～40℃

湿度環境 15～95% (結露しないこと。)

使用期間：外国製造業者の表示を参照。

【保守・点検に係る事項】

*＜使用者による保守点検事項＞

- ・ボディポジションセンサプロテックの適切な動作を保持するために、ワイヤ接続をチェックすること。

*クリーニング

- *・このボディポジションセンサ プロテックは、プラスチックや金属が腐食しない、医療施設で使用されている消毒剤で拭いて手入れを行なうこと。
- *・絶対に洗浄液には浸さないこと。
- *・コネクタに液体がかからないように注意すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

**製造販売業者：

株式会社フクダ産業

電話番号：04-7147-1622 (代)

**販売業者（連絡先）：

フクダ電子株式会社

電話番号：03-3815-2121 (代)